

YOGA WORKS

yoga works

vol.17

私ならコレ！自分に合った 「ファーストマット」を手に入れよう

人それぞれライフスタイルが違うように、ヨガとの向き合い方も千差万別。
用途に応じてマットを選ばないと、プラクティスに集中できないことも。特徴を見極めてベストな一枚を手に入れよう。

写真=ヨガワークス 構成・文=長谷部美佐

ヨガマット、どう選ぶ？

ヨガマットの大きな特徴「手軽さ（薄くて軽い・価格帯）、
「機能性（クッション性・グリップ力）」、「デザイン性」を考慮の上、
自分がヨガに何を求めるのかを照らし合わせてセレクトしよう。
イメージしやすいように各商品を調理鍋に例えているので、
そちらも参考にして！



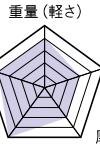
ヨガマット3.5mm

ヨガマット6mm

コスパ重視で選ぶなら

ヨガマット3.5mm

CO₂↓



重量（軽さ）
機能性
(グリップ力、
クッション性)
価格（手頃感）
厚さ

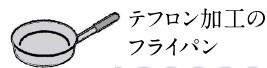
¥3,520

サイズ：約173cm×61cm×3.5mm
※丸めた時の直径約10cm
重量：約1.0kg

こんな人にオススメ

- 好みの色でモチベーションを上げたい
- 流行に敏感
- 試しに一枚買ってみたい

調理鍋に例えるなら…



手軽さを例えるなら、こびりつきにくく、さっと洗えて扱いやさしい、手ごろな価格帯のフライパン。

特徴

軽量・かさばらない・お手ごろ価格、三拍子そろった定番マット。床からズレにくいので、立位やバランス系のポーズにも安心。カラー全8種とバリエーション豊富にそろう。耐久性にも優れたコストパフォーマンスの高い一枚。

定番中の定番

ヨガマット6mm

CO₂↓



重量（軽さ）
機能性
(グリップ力、
クッション性)
価格（手頃感）
厚さ

¥4,620

サイズ：約173cm×61cm×6mm
※丸めた時の直径約12cm
重量：約1.3kg

こんな人にオススメ

- 機能性もデザイン性もどちらも大切！
- ベーシックが落ち着く
- いろいろなポーズに挑戦したい

調理鍋に例えるなら…



とりあえず一つ持つていれば間違いない安心感は、日本のキッチンに欠かせない万能鍋。

CO₂↓

地球に優しいカーボンオフセット*対応

*カーボンオフセット…製造と輸送で排出される二酸化炭素量を、『エクアドルの家庭に対する電球型蛍光灯普及プロジェクト』をサポートすることで相殺しています。

